

PyCharmとQtでトライ 操作しやすい GUIアプリ作り

第1回 環境の準備

澤田 英宏

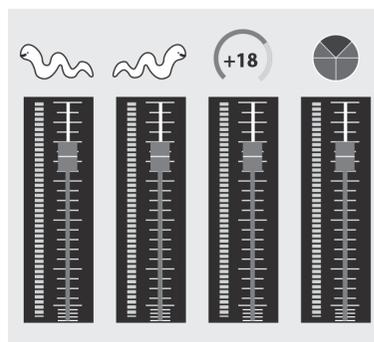


図1 いつものコンソール・アプリ

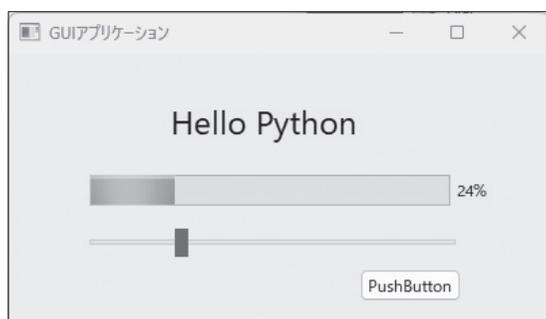


図3 Windows PCでアプリをつくるなら Visual Studio が有名

図2 Qtを使って作るの GUI アプリ…図1と直接対比できるのではないが、GUIで頑張るとこんな感じに

● 見た目が良い方がいいよね

Pythonでプログラミングしている皆さんの中には、「これってコマンドで操作するコンソール・アプリしか作れないのかな」と思われた方はいませんか。Pythonでも豊富なライブラリを使えば、Windowsで使用するようなGUI(グラフィカル・ユーザ・インターフェース)を使用したアプリケーションを作れます。

図1はコンソール画面に表示するPythonアプリ、図2がGUIを装備したPythonアプリです。

Hello Pythonを表示しただけの2つのアプリですが、読者の皆さんどうでしょう、何らかの操作をするアプリが必要な場合は、明らかに図2のGUIアプリの方が、皆に使ってもらえる気がしませんか、その気になればゲームだって作れます。

この連載では、Pythonで誰もが直感的に使えるアプリケーションを作ってみます。今回はその第1回です。

● PythonでGUIアプリ作りを勧める理由

Windows OSにてGUIアプリを作る場合は、一般的に開発言語としてC#を使います。また、開発環境としてマイクロソフトが提供するVisual Studio(図3)を使用します。

Visual Studioそのものは大変優れていて、C#やC++などでWindowsのネイティブ・アプリケーションを作成したい場合は、ほとんどのケースでVisual Studioを使用します。それならPythonよりもVisual Studioで作った方が良いのでは…との意見もあるでしょう。

今回、筆者が勧める理由は以下です。

- 1、Pythonで利用できる膨大なライブラリを使ってプログラミングができる
- 2、本記事の内容は、ほとんどそのままWindows以外のOSでも動作可能である

プログラミング環境の準備

Pythonプログラムを作る環境としてPyCharmを利用します。以降はWindows OS(10または11)のPCを利用していることを前提に説明します。

● 統合開発環境 PyCharmをインストール

統合開発環境のPyCharmをダウンロードします。

<https://www.jetbrains.com/ja-jp/>